
瑞鶴に海で
抜いてもらう本
DOJIN
R18
成人向け
18歳未満の
購入・閲覧禁止


ちょっと提督さん
さっきから翔鶴姉のこと見すぎなんじゃないの？
あー？
そんなことないって
引率者としてちゃんと監視してるだけだ
ほんとかなー？
どーせ胸でも見て鼻の下伸ばしてたんでしょ


提督さんスケベだし
おっぱい大好きでしょ
おいおいスケベは
瑞鶴だろ？
昨日の夜あんなに
腰振ってたくせに
うっさいしね


昨日のは提督さんが
どうしてもって
言うからよ
ほんと性欲つよつよのお猿さん
なんだから翔鶴姉とかを
視姦しないでよね
なんだ嫉妬してんのか？
心配すんなって
俺は瑞鶴の
ボディラインが
一番好きだから


ふーん…


その証拠に瑞鶴の水着姿
見てたら勃起したわ


ばっ…ばっかじゃないのッ!!
なんでこんなところで盛ってんのよッ!!
(小声)


エロい体を見たら勃起するのは生理現象だからしょうがないだろ
(小声)
はぁ!?
(小声)
なによそれッ誰かに見られる前にさっさと鎮めなさいッ
(小声)
えーすぐには無理かも
(小声)
うるさいッ
(小声)
ヒソ


あーもうほんとありえないしきもいきもいきもい
平然と勃起させられるとか意味わかんないんだけど皆の目があるんだよ?
なんで私こんな人好きになっちゃんだろ…
まぁ…一応頼りになるし気遣いもできるしちんこもでかいし…
……ってそうじゃなくて他の人に見られないようにちんこをどうにかしなさいよ…ッ
提督さん
まだ勃起治まんないの?
瑞鶴が抜いてくれたらすぐに治まるわ


ちょっと
こっちに
来なさい…ッ
こんなところに連れてきて
どうしたんだよ
もしかして
エッチな事
されちゃう感じ？
そんなわけないでしょッ
勃起した姿を
見られるわけには
いかないから
それが治まるまで
海でも眺めてなさいッ
えー
てっきり抜いて
くれると思って
たんだけど
ボロンッ
ちょっ!!
何してんのっ!!
キョロ
キョロ
早くしまいなさいよッ
大丈夫だって
ここら一帯は軍の
保有地だから人は
滅多に来ないぞ


だいたいこうなったのは瑞鶴のせいじゃん
それに抜いたほうが早く終わるだろ？
はぁ!?
だけど万が一誰か来たらどうすんの…っ
俺が見張っておくから大丈夫だって
……本当に私がしないとだめなの…？
おう
……
あーもうわかったわよ
口でだけならしてあげる…ッ


瑞鶴もやっぱしたかったんだな
ずるるる
ずいぶんがっついてんないいしゃぶりっぷりじゃん
くっぽ
んっ
ふっ
くっぽ
くっぽ
くっぽ
んっ
くっぽ
そんなわけないでしょ
れろ〜
早く射精させるために決まってるじゃん
勘違いしないでよね
じっ
まったく…ッ
こっちだって好きでしゃぶるわけないでしょ…ッ
じゅぽ
じゅる
じゅぷ
じゅぷ
じゅぷ
じゅぽ
早く皆のところに戻りたいからしかたなくしゃぶってあげてるだけだし…ッ
じゃなかったら外でフェラなんてするはずがないでしょッ


じゅるる
全部勃起を鎮められない
提督さんが悪いのよ
これはしょうがないことよッ
うん…ッ
じゅる
ずぞぞぞ
決して私が
やらじいとか…
そんなんじゃないわ…ッ
じゅるる
ずぞぞぞ
ぢっぽ
ぢっぽ
ぢっぽ
ぢっぽ
ぢっぽ
ぢっぽ
ぢっぽ
ぢっぽ
さっきまで
周りのことを
気にしていた割には
ずいぶんと下品で大きな音
出してしゃぶるじゃん
必死すぎだろ
ったくしょうがねーな
そんな早く終わらせたい
瑞鶴のために
ちょっとスパート
かけるわ
じっ
じっ


やっぱ早く出すには
これだよなぁ
ちょっと
我慢してくれよ


あーやべ
喉奥まで突っ込むの
たまんねぇ
このごり感
気持ちいいわ…ッ

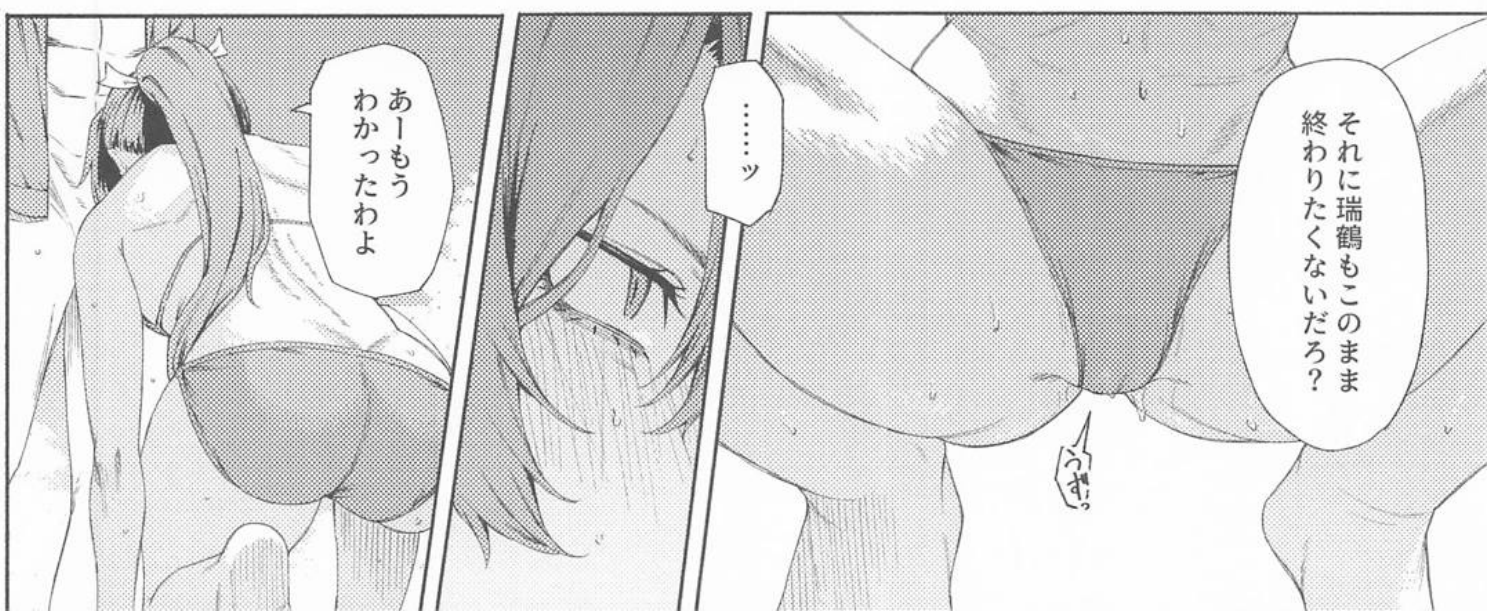



…っうッ
そろそろッ
だすぞッ


あーでるでる…
とまんねぇ…
ビュー
ビュルルル
ビュー
ビクン
ビッ
ビクビク
ビクビク
ビッ…
ビクビク
ビクビク
はー…
はー…
はー…
ツーハーア
ロホッ
ゴホッ
…ww


うえっ…っ
出しすぎよまったく…
おえっ
でもこれで治まったでしょ…
ビュッ
いや全然


なんでまだおったててんのよ…
下品なフェラ顔がエロくて1回じゃ足りなかったわ
誰の顔が下品よ…
でもこれじゃあ皆のところに戻るのは無理だな
あーもう1回抜いてもらえたらすぐに帰れるんだけどな


それに瑞鶴もこのまま終わりたくないだろ？
うずっ
……ッ
あーもうわかったわよ


一度だけだからね
こっち使わせてあげるからさっさとしてよ
おいおいめっちゃ濡れてるじゃん
ぱあ
瑞鶴もこうなること期待してたんだな
うっさいッ金玉つぶすわよ…ッ
早く挿入れて爆速で射精しなさい…ッ


おーこわw
んっ
ビュッ

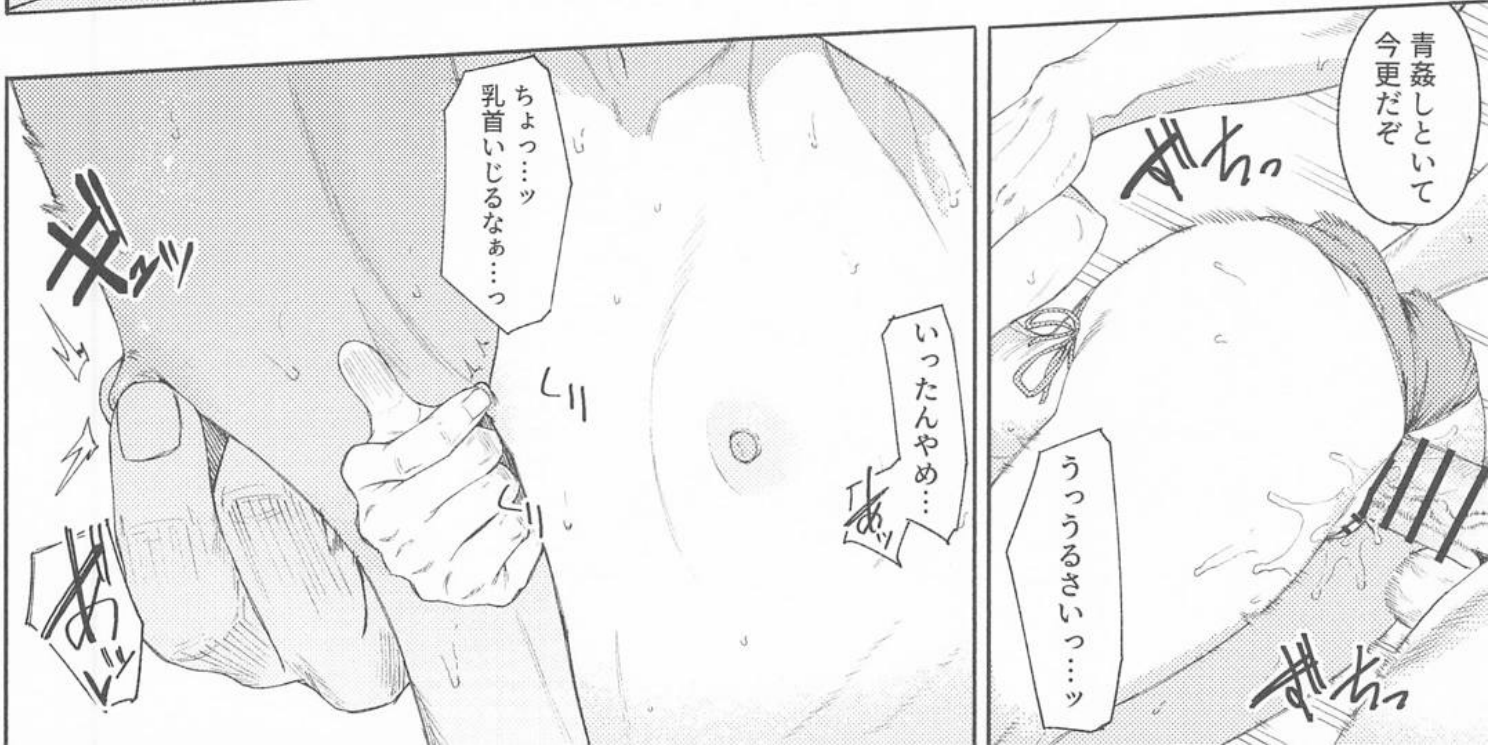

キュッ
キュッ
ミチッ
うおっきっっ
締まりよすぎだろw
ふー…
ふー…
あんたのがでかすぎるだけでしょ…
ぎゅっ
けどめちゃ濡れてるから出し入れはしやすいな
まるるるる
ビクッ
んあっ


まんこの具合もいいしやっぱ瑞鶴のは名器だわ
ッ…ッなにバカなこと言ってんの…ッ
いいからさっさと…っ射精しなさい…ッ
わかってるってw


あーやっちゃった…ッ
こんな誰かくるかわからない場所で
動物みたいな交尾して
他に人がいないはずなのに恥ずかしすぎる…ッ


提督さんはそんなのお構いなしで猿みたいに腰振ってくるし…ッ
さっさとイケッ…ばかちんこッ
いつもはすぐ射精すくせに…ッ
ほんと最悪…ッ
しゃる…


なっ
なにやってんのよっ
水着が…っ
裸は流石にまずいわよっ
ちょ…ッ
腰振るのやめなさいバカッ


青姦しといて今更だぞ
うっうるさいっ…ッ
ちょっ…ッ
乳首いじるなぁ…っ
いったんやめ…




さっきから執拗に乳首なんか弄っちゃって…ッ
こんな雑につねられてるのに…
声が出そうになっちゃう…っ






あー気持ちいい
てかまんこ痙攣しすぎだろw
ちんこ刺激すんなってw
やっべ
また勃って
きちゃった
俺は別に
このままでもいいけど
瑞鶴はまだヤりたいか？
そういえば
瑞鶴先輩の姿が
見えないですね


どこにいったんでしょうか
さっき提督と二人でどこかに行くのは見たけれど
忘れ物でも取りにいってるんじゃないかしら
あっ
ぱくっ…
だしなさいよっ
あっ
ハメッ
チュッ
チュッ
チュッ


いやー
それにしても
最初は嫌がっていたのにノリノリじゃないか
んっ
ズチュッ
あっ
たまには外でするのも悪くないだろ？
ズチュッ


そんなわけないでしょ…ッ
提督さんのちんこを鎮めるためにしかたなくやってるだけだから
勘違いしないでよね…っ
とは言いつつめっちゃ腰振ってるじゃんw
やっぱ下の口は正直だなw
誰のせいでこうなったと思ってんのよ…
うっさいしね…ッさっさとイけばかちんぽ
簡単にイかないしでかいしかたいし気持ちよすぎるし…ッ
気を引き締めないとすぐにいちゃいそう…
くやしいぐらい私のおまんこと相性がよすぎる…っ


なんで…ッ
私がこんなにしてあげてるのに…
はっ
はっ
はっ
射精さないのよ…ッ
ほんと最低…
最低なちんこなのに
ずちゅ
ずちゅ
気持ちいいところに当たりまくって…
ハァーハァー
んおッ


すっげぇ噴いてんなw
…あッ
はっ…ッ
そんなに気持ちよかったか？


けど一人でアクメ決めてるところ悪いが
おっ
ビクッ


あッ
ビシャーーーッ
うおっ


俺がイクまで終われないぞ


だっ…ッだったらッ
さっさと射精(だ)しちゃいなさいよ…ッ


えー早く射精(だ)すのもったいないじゃん
このバカ…ッ
なにがもったいな…


あーくそくそくそ
誰かに見られるかも
しれないのに…
早く終わらせないと
いけないのに…
提督さんのちんこが
気持ちよすぎて…ッ
やめさせ時が
わからなくなる…ッ
ふー
ふー
んぁ〜


提督さんのおっきい手で
ごりごりつねられる…♡
あっ♡
乳首また
引っ張られる…ッ♡
ぎゅ〜


これだめ…♡
軽くイク…ッ♡
このタイミングで
やってくるの
反則過ぎ…ッ♡
おっおおお
ぎゅ
ぎゅ
ぎゅ


声でかw
翔鶴たちまで聞こえるだろ
うっ…ッ
うるひゃいッ
でるもんは
しょうがないでしょ…ッ
ったく
しょうがねぇな






あっ
ぴゅるっ
ぴゅっ
ヌロォ…
はぁ…
ぬぽんっ
はぁ…


もう十分出したけど
いつまでしゃぶってるんだ？
ふえ…っ？


……
なぁ瑞鶴


ちがうわよっ!!


もしかしてやり足りなかったか？
なんだよまだしたいならそう言えよ
ほんとドスケベだなお前も


ちんこ萎えさせない提督さんのせいでしょッ!!
ほらっ！さっさと水着着て皆のところに戻るわよッ!!
おっおう…


いい？
そ、そこ私合じた
通りだからね
ヒソ
おっ…
ヒソ
もう瑞鶴ったら
どこに行っていたの
遠くに行くなら
一言言わないとだめよ？


提督さんがどうしても
フナムシ捕まえたいって
きかなくて
今度から気を付けるね


ヒソ
お い瑞鶴
口についてる…っ
ヒソ
ヒソ
えっなに…
んなッ!!

同人誌を出すのはしばらくぶりで、その間に名前を変えました。
ガッフェ高饅改めふぇーがです。

ガッフェという言葉は非常に下品な意味合いで使われ、
意味を調べた相互フォロワーがショックを受けていました。

私自身もコミケ会場で「ガッフェってどういう意味ですか？」と聞かれた際
上手く受け答えできなかった経験があり、ちょうど絵柄を変えた時期でもあったので
この際思い切って名前を変えました。

これからも叡智な絵をたくさん描いていく予定なのでよろしくお願いします。

奥付

発行日：2026年8月15日
発行：そろぷれい
発行者：ふぇーが
印刷所：株式会社栄光
X（旧Twitter）：vakan12

そろぷれい

Kantai
Collection

fanbook

